

第七十四回帝國議會衆議院

青年學校教育費國庫補助法案委員會議錄(速記)第九回

付託議案
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

昭和十四年三月一日(水曜日)午前十時四十
四分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 野村 嘉六君

理事長野 高一君 理事會和義式君

多田 滿長君 手代木隆吉君

佐藤 與一君 長野 長廣君

樋口善右衛門君 庄司 一郎君

田子 一民君 河上 哲太君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

同日委員武知勇記君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ岡田喜久治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事武知勇記君ノ補闕トシテ岡田喜久
治君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

内務大臣 侯爵木戸 幸一君

法制局參事官 樋貝 誉三君

内務政務次官 漢那 奕和君

文部參與官 野中 徹也君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
○野村委員長 是ヨリ開會致シマス
○長野(長)委員 内務大臣ニ御伺申上ゲマス、教育振興ノ根本ハ、教員ガ安心シテ自由ニ其ノ手腕ヲ發揮シ、其ノ徳教ヲ行ヒ得ルコトニアルト思ヒマス、而シテ是ガ爲ニハ教權ヲ尊重確立シ、師道ヲ作興シナクテハナリマセヌ、教權ノ尊重確立ニハ、教育行政官吏ガ先づ教員ノ人事行政ヲ適正ニ行ヒ、此ノ點ニ遺憾ナキヲ期シ、一ハ以テ教師尊敬ノ美風ヲ作興シ、師道ヲ興隆セシメ、他ハ以テ教師ヲシテ安ンジテ全人格ヲ教育ニ傾倒セシメナケレバナラヌト存ジマス、然ルニ往々ニシテ地方行政官中、此ノ趣旨ニ違フガ如キ行動アル者ヲ見ルコトハ、深憂ニ堪ヘマセヌ、内務大臣ハ此ノ際地方教育行政官ニ對シ、斯ル心得達ヒナキヤウ嚴重ニ御監督ナサレル御意思ハアリマセヌカ、御答辯ヲ願ヒマス

○木戸國務大臣 長野サンノ御質問ニ御答
出席政府委員左ノ如シ
内務大臣 侯爵木戸 幸一君
内務政務次官 漢那 奕和君
文部參與官 野中 徹也君
内務省地方局長 坂 千秋君
文部政務次官 小柳 牧衛君
文部參與官 野中 徹也君
致シマス、只今御質問ノ點ニ付キマシテハ、教育行政官吏ガ教員ノ人事行政ヲ適正ニ行

フベキコトハ當然ノコトデアリマス、内務省ト致シマシテハ從來ト雖モ此ノ趣旨ニ依リマシテ、地方教育行政官吏ノ監督ヲ爲シモツタノデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ一層監督ヲ嚴ニ致シテ行キタイト存ジテ居リマス
○長野(長)委員 私ノ本日内務大臣ニ質問致シマスル事柄ハ以上ヲ以テ終結シマス、尙ホ一言此ノ際申上ゲテ置キタイコトハ、先般私ノ質問致シマシタ件ニ付テハ、文部務ヲ掌ル上ニ於テ、往々ニシテ内務省以外ノ他省關係ノ事務ヲ處理スル上ニ、熱意ヲ缺クモノアルヲ認ムルハ甚ダ遺憾千萬デアリマス、仍テ地方教育關係官ノ任用ニ際シテハ、文部省トノ連絡モアリマスカラ十分慎重ヲ期セラレテ、以テ現行人事行政制度ノ運用ヲ全ウスルト共ニ、今後一段ト御研究ヲ積マレ、一日モ早ク他省ト關係ノアル當局ニ於テ新聞等ニ出シテ居リマス、勿論タイト思ヒマス、尙ホ此ノ頃文部省ノ御發表ト全然反対ノヤウナ發表ヲ、福岡縣學務當局ニ於テ新聞等ニ出シテ居リマス、勿論タイト思ヒマス、尙ホ此ノ頃文部省ノ御發表ト全然反対ノヤウナ發表ヲ、福岡縣學務當局ニ於テ新聞等ニ出シテ居リマス、勿論タイト思ヒマス、尙ホ此ノ頃文部省ノ御發表ヲドレダケノ範圍ニ於テ述ベラレタ新聞紙ニドレダケノ範圍ニ於テ述ベラレタカ、事實述ベラレタカ否カト云フコトハ別タ所ト非常ニ食違フヤウナ發表ヲ新聞ニセラレルト云フコトハ、又問題ヲ紛糾セシメルコトト思ヒマスカラ、ドウゾ一日モ早ク御調査ヲ願ヒマシテ種々、錯誤等ノ無イヤウクガ如キコトノイヤウニ、今後共十分指揮監督ヲ加ヘテ行キタイト存ジテ居リマス、隨ヒマシテ地方教育關係官吏ノ人事ニ

トハ打切ト致シマス

○手代木委員 一點ダケ内務大臣ニ御尋シ

マス、ソレハ文部當局ト兩方ニ瓦ル問題デアリ
マスガ、地方財政ニ關スル件ニ付テ、内務大臣ニ
伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ女子教育——女
子バカリデハアリマセヌガ、主ニ女子ノ方
トスル場合、男子ノ市町村立ノ中等學校ノ地
方費移管ハ至ツテ容易ク行ハレテ居ルヤウ
デアリマスガ、女子ノ方ノ實科高等女學校、
或ハ女子ノ職業學校ノ地方費移管ハ、容易
ニ行ハレナイヤウニ思フノデアリマス、ソレ
私ハ北海道デアリマスガ、北海道ナドニ於
テハ、市町村立ノ實科高等女學校トカ家
思フノデアリマス、市町村立ノ女子ノ職業
學校デアリマスト、永久ニ其ノ市町村ガ經
デハ普通ノ高等女學校ヲ建設スルコトバ
カリ考ヘマシテ、女子ノ職業教育ノ方面ノ
中等學校ノ設立ヲ好マナイノデアリマス、
是ハ私ハ今日ノ時勢カラ見マシテ、普通ノ

高等女學校ト相竝ンデ、特ニ地方ナドニ於

テハ女子ノ職業學校、家政女學校、其ノ他
ノ實業學校、斯ウ云フモノヲ盛ニシナケレ
バナラヌト思フノデアリマス、然ルニ今申
上ゲルヤウニ、其ノ市町村ガ永久ニ其ノ學校
ノ經費ヲ負擔シナケレバナラスト云フヤウ
ナ、前途ニ一ツノ故障ヲ豫想スルガ爲ニ、
容易ニ之ヲ捨ヘナイヤウナ傾向ガアルノデ
アリマス、實ハ先達テモ北海道ノ或ル土地
ニ於ケル家政女學校ヲ廢止シテ、普通ノ高
等女學校ニ直シタイト云フ問題ガアツタノ
デアリマスガ、其ノ時ニヤハリ地方ハ、其
トハ困難デアルシ、又其ノ家政女學校ノ外
ニ、普通ノ高等女學校ヲ又捨ヘルト云フコ
トモ、經費が非常ニ増加シテ來ルノデ是モ
困難デアル、ソコデ家政女學校ヲ廢止シテ、
普通ノ高等女學校ヲ新ニ建テヨウトシタノ
デアリマス、所ガ文部省デハ家政女學校ヲ
ニ高等女學校ヲ作レト云フコトヲ、大分
變當惑ヲ致シタノデアリマス、私モ其ノ問
題ニ付テ文部當局ニ伺ツタノデアリマスガ、
文部當局ハ女子ノ實業教育ヲ盛ニシナケレ
バナラヌ、サウ云フコトヲ言ツテ居ラレマ

スケレドモ、先程申上ゲル通リノ理由デ、
何時マデモ町ガ其ノ經費ヲ負擔スルコトニ

堪ヘナイデ、ヤハリ普通高等女學校ヲ作ル、
ノ職業學校モ、ヤハリ或ル程度ノ條件
ヲ備ヘレバ之ヲ地方費ニ移管ガ出來ル、斯
ウ云フコトヲ積極的ニ當局トシテ獎勵セラ
レナケレバ、幾ラ理想ヲ說カレテモ、ソレニ
伴フ經費ヤ何カノ負擔ノ點カラ實行ハ出來
ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、
私ハ是ハ内務省トシテ地方財政ノ考慮ノ上
ニ、此ノ市町村立ノ女子職業學校、實業學
校ト云フモノヲ、ヤハリ地方費ニ移管ノ途
ガ開カレルヤウニ——是ハ府縣ニ依ツテモ
職業學校ガアリマシテモ、皆市町村立デ何
ニハ絶對ニ今マデアリマセヌ、澤山ノ女子ノ
違ヒマセウケレドモ、私ノ方ノ北海道ナド
時マデモ維持經營シナケレバナラナイ、斯
ウ云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、是
ハ先程申上ゲル通り、文部當局ハ女子ノ實
業教育ヲ獎勵スル、斯ウ言ツテ居リナガラ、
一方ニハサウ云フコトニ依ツテ、是ガ阻止
サレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ途ヲ何
トカ開イテ行クベキモノデアルト思ヒマス、
ドウ云フ理由デ一體サウ云フモノヲ認メナ

イノカ、其ノ理由モハツキリ分リマセヌ、
一年デシタカ北海道ノ學務部長トモ、色々

リマスケレドモ、結局是ハ文部當局ガ國策
トシテサウ云フモノヲ獎勵助長シテ、簡單
ニ地方費ニ移管ガ出來ルト云フ方針ヲ確立
シナイ限りハ、ドウモ地方廳トシテハ考ヘ
ラレナイ、斯ウ云フ結論ニナツタノデアリ
マス、左様ナコトデハ國策ニ副フ所以デナ
イ、斯ウ云フ問題ガアルノデアリマスガ、
此ノ點ニ付テ將來ニ對スル御方針ヲ伺フナ
リ、或ハ又是カラ新タニサウ云フ方針ヲ採
ラレルナリ、ソレ等ニ對スル御意見ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○木戸國務大臣

只今御話ノ點ハ、細カイ
コトハ私モマダ能ク存ジテ居リマセヌ、唯
恐ラク此ノ女子教育ト云フ問題ガ、從來餘
リ重ク視テ居ラレナカツタ、隨ヒマシテ女
子ノ方ノ學校ハ、多ク私立ノモノガ多イト
思フノデアリマス、殊ニ職業學校ト云フモ
ノニ付テハ、サウ云フ傾向ガ強イヤウニ見
受ケラレルノデアリマス、併シ今後女子教
育、殊ニ女子職業教育ノ振興ト云フコトハ、
非常ニ必要ナコトデアリマス、只今ソヤウ
ナ點ニ於テ、是ガ振興ニ付テ支障ノアリマ
ス

策ヲ斷行サルルコトノ善惡ヲ私ハ批判申上
スルガ、其ノ要點ハ、青年學校ノ義務教育
ノ實施ノ第一年度ガ丁度十四年度ニ該當ス
ル、青年學校ノ義務教育ノ施行ニ關シテハ、
生徒ノ數モ相當增加シテ來ル、隨ヒマシテ
色々ナ設備費ノ關係ニ於テ、或ハ机デアル
トカ、腰掛デアルトカ、其ノ他各種ノ臨時
ノ經費モ相當増額サルルト云フコトハ、極
メテ妥當ナル見方デアリマス、然ルニ内務
大臣カ、或ハ次官ノ名ニ依ツテ依命通牒サ
レマシタ其ノ緊縮豫算ノ斷行ト云フコトニ
關シテ、青年學校ニ關スル費目ニ關シテモ
ヤハリ緊縮政策ヲ採ラレ、即チ昭和十三年
度當初豫算ヨリ、青年學校教育費ニ關シテ
モ、他ノ勸業費、衛生費或ハ警察費ト同様
ニ五分減ヲセヨト云フ御意思ヲ、内務大臣ハ
懷イテ居ラレルカドウカ、是ハ青年學校義
務制度ノ第一年度ノ豫算編成ニ關シテ、現下
レテ、青年學校費ニ關シマシテモ五分減ヲ
町村長ハ非常ナル關心ヲ持ツテ居ル問題デ
アリマスガ、是ガ畫一的ナル所ノ切詰ヲサ
断行サレルヤウナコトニナリマシタナラ
バ、青年學校ヲ管理シ、之ヲ經營シテ居ル
所ノ市町村長ト云フモノハ、全ク青年學校
ノ義務教育ノ萬全ヲ期シ得ナイト云フヤウ

ニ憂慮シテ居ルノデアリマス、仍テ内務省
ノ御意思ハ、青年學校教育費ニ關シテモヤ
ハリ緊縮方針ヲ執ツテ、十三年度當初豫算
ヨリモ五分ヲ引カウト云フ御意思デアルカ
ナイカ、ソレヲ明白ニシマセヌト、全國ノ
市町村長ガ只今來年度ノ豫算ノ協議會ニ於
テ原案ヲ提示スル上ニ非常ニ困ツテ居ル
ノデアリマス、又府縣ノ無理解ナル、年ノ
若イ屬官諸君ガ、所謂杓子定規ニ型ヲ當テ
テヤラレルト、非常ナ相剋摩擦ヲ發生シテ
來ル、或ハ府縣ニ於テ學務部長ト總務部長
トノ間ニ相當深刻ナル論爭ガ鬪ハサレテ居
ル、斯様ナ實情ニ鑑ミマシテ、茲ニハツキ
リト、緊縮政策ニ於テ五分減ハ命令シタケ
レドモ、青年學校教育費ニ關スル限りハ左
様ナ彈力性ノナイ、伸縮性ノナイ命令ハ下
シテ居ナイトカ、居ツタトカ、其ノ點ヲハ
ツキリサセタイト云フ意味ニ於テ、過般第
四回ノ委員會ニ於テ内務大臣ニ質問ヲ致シ
タノデアリマスガ、本日マデ——今日ハ多分
第九回ノ委員會ト思ヒマスガ、政府委員カ
ラ何等答辯ヲサレテ居ナイノデアリマス、
詳細ナコトハ調査ノ上、政府委員ヲシテ速
ニ御答辯サセルト云フコトヲ言ハレテ居ツ

ラ、此ノ點ニ關スル明確ナル御答辯ヲ煩ハシ、以テ現下豫算編成ノ眞最中ニアツテ、市町村長ニ對シテ、議會ヲ通シテ明確ナル方針ヲ知ラシメテ戴キタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○坂政府委員 出席ガ遲レマシテ、御約束ノ御答辯ノ遲レマシタコトハ洵ニ恐縮デアリマス、御諒恕ヲ戴キタイト思ヒマス、大體戰時時局ノ非常財政ノコトデアリマスノデ、物資ノ關係或ハ資金ノ關係等カラ、出來得ル限リノ整理節約ヲ致シマスコトハ、已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、國家、公共團體ハ最大ノ消費者デアリマス、國民全般ト歩調ヲ一ニ致シマシテ、出來ルダケノ物資ノ節約、資金ノ節約ヲ致シマセヌケレバヤツティケナイト云フコトハ、是ハ御諒承ヲ戴ケルモノト思フノデアリマス、其ノ趣旨ニ從ヒマシテ昨年、一昨年、内務大藏兩次官名ヲ以チマシテ、地方府縣市町村ヲ通ジマシテ、出來得ル限リ節約ノ豫算ヲ組ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申シテヤツテ居リマス、其ノ中デ本年度ノ豫算ハ、府縣ト六
大都市——是ハ府縣ト同ジ或ハ同ジ以上デアリマセウガ、之ニ付キマシテハ大體一割見當ノ節約ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコ

トヲ申シテヤツタノデアリマス、但シ是モ特
別ノ事情ガアルモノハ此ノ限リニアラズト
云フ無論但書ガ付イテ居リマス、實際ノ成
績カラ見マスト、一割ニナリマシタモノハ
非常ニ少イノデアリマス、一割ニナラナイ
府縣ガ殆ド大部分デアリマスガ、縣ニ依リ
マシテハマダ節約ノ餘地ノアル所モアリマ
シテ、一割以上ニナツテ居ル所モアルト思
ヒマス、主トシテ節約ノ大キナモノハ臨時
費デアリマス、大キナ土木ヲヤツテ居リマ
ストカ、斯ウ云フ方面ノモノハ、事業ノ繰
延其ノ他ニ依リマシテ相當節約ノ餘地ガア
リマスノデ、先づ私共ガサウ云フコトヲ考
ヘマシタ時ニ頭ニ浮ンデ居リマシタノハ、
此ノ臨時費ノ方面ニ相當考慮ノ餘地ガアル
ノデハナイカ、經常費ノ方面ニナリマスト、
是ハ大都市府縣ニ付キマシテ一割ヲ强行ス
ルコトハ到底不可能デアルト考ヘテ居リマ
ス、又實際出來テ居リマセヌ、サウ云フコ
トデアリマスガ、其ノ他ノ大都市、況ヤ市
町村ニ付キマシテ一割トカ——只今五分ト
仰セニナリマシタガ、五分トカ云フ趣旨ハ
全然示シテ居リマセヌ、是ハ示サナイノガ
適當デアルト云フ心持デアリマシテ、各府
縣ニ於キマシテ若シ適當ナ標準ヲ求メ得ル
モノナラバ求メテモ宜シ、又ソレヲ適當ト

セヌナラバ設ケナクテモ宜シイ、ソレハ其ノ各市町村ノ實情ニ應ジテ適當ニ考慮按配セラレタイ、唯大體ニ於テ出來得ル限リノ整理節約ノ方針デ豫算ノ編成ヲスルヤウニ努メシメテ貰ヒタク、斯ウ云フ趣旨ノコトシカ言ツテヤツテ居ラヌノデアリマシテ、只今御述ニナリマシタヤウナ各費目ニ付キマシテ、逐一ドレモ是モ五分減ト、云フコトハ、全體トシテモ考ヘテ居リマセヌシ、況ヤ市町村等ノコトニ付キマシテモ全然考ヘテ居リマセヌ、大都市ニ付キマシテ一割ト申シタノモ、全體ノ豫算ノ一割ト云フコトデアリマシテ、各項目ニ付キマシテ一割ト云フヤウナ窮屈ナ意味デハ毛頭ナイノデアリマス、青年學校ノ關係ガ、今度新シイ制度ガ出來マスコトニ依ツテ自然増加ナドモ或ハアルデアリマセウシ、又既存ノ經費ニ付キマシテモ、ドノ程度マデ整理節約ヲ爲シ得ルカト云フコトハ、是ハ十分考ヘナケレバナラヌ餘地ガアルコトデアリマス、兎ニ角青年學校ノ經費ニ付テ、直チニ五分減、一割減ト云フヤウナコトヲ言ツテヤツテ居リマセヌシ、又サウシテ貰ヒタクト云フ希望ヲ持ツテ居ル譯デハナリノデアリマス、何カ御述ニナル所ニ依リマスト、サウ云ツタヤウナコトガ行ハレテ居ル

ヤウニ仰セニナリマシタガ、其ノ點ハ何カラヌ點ガアルノデアリマセウカ、考ノ十分届イテ居ナイノデアリマスケレドモ、私共ノ心持ハサウ云フ心持ヲ持ツテ居ル次第デアリマス
○庄司委員 マダ遺憾ナガラハツキリシマセヌガ、六大都市ヤ他ノ都市ヲ除イタ全國一万四千ノ町村ニ對シテ、府縣知事ヲ通シテ大體五分減、十三年度當初豫算ヨリ五分ヲ減ゼヨト云フヤウナ御命令ハ具體的ニ出サレテ居リマセヌカ、斯ウ云フコトヲ御尋申上ゲル所以ハ、昨日東北六縣ノ縣會議員或ハ町村長會長等ガ偶然集リマシテ、色々伺ツテ見マシタ所ガ、宮城縣モ岩手縣モ約束シタヤウニヤハリ五分減ト云フコトノ御達シヲ受ケテ、其ノ御指導ノ下ニ餘儀ナク豫算編成ヲヤツタ、ヤハリ青年學校教育費ニ關スル限リハ非常ニ困ツテ居ルト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、ソレハ地方長官同士ガ何カ御約束サレテ偶然五分減ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲト云フコトヲ言ツテヤツタコトモゴザイマ今一度御伺シタイト思ヒマス

セヌ、各縣ノ事情ニ依クテ必要ナ所ハ考ヘ
テ居ルカモ知レマセヌガ、内務省カラ五分
減ト云フコトヲ言ツテヤツタカドウカト云
フ點ニ付テ、ハツキリ申上ゲレバ申シテヤ
ツタコトハナイノデアリマス
○庄司委員 ハレデハ最後ニ、青年學校義務
教育施行ノ第一年度ニ際シテ、内務省トシ
テハ青年學校ノ經費ニ、一般會計竝ニ臨時
部等ニ於テ、五分減ヲ強要サレルヤウナ御
意思ハゴザイマセヌカ、ゴザイマスカ
○坂政府委員 五分減ト云フ形式ヲ強要ス
ル積リハゴザイマセヌ
○庄司委員 青年學校義務教育費ニ關スル
限り、五分減ヲ強要スル意思ガナイト云フ
コトハ只今明白ニナリマシタカラ、之ヲ以
テ私ノ質問ヲ終リマス
○樋口委員 一寸關聯シテ内務省ノ政府委
員ニ御伺致シタイト思ヒマス、五分減ト云
フ通知ハ出シテ居ラヌケレドモ、是ハ東西
何レヲ通ジテモ、サウ云フ通知ガ來テ居ル
コトハ私ハ確カダト思フノデアリマスガ、
内務省カラサウ云フ御指示ガナイト云フコ
トデアリマスガ、只今御話ニナリマシタ
ヤウニ、經常費ニ餘裕ノナイコトハ察セラ
レル、臨時費ノ方ニ削減ノ出來得ルモノガ

○坂政府委員 經常費ニ付キマシテハ全然其ノ整理節約ノ餘地ガ無イ——全然無イト云フコトハ言過ギタト思ヒマスガ、大體カラ言ヒマスト經常費ノ節約ハ困難デアラウ、殊ニ節約スルナラバ先ヅ臨時費デアラウ、殊ニ物資ノ關係、資金ノ關係等ヲ考ヘマスト、多額ノ物資ヲ要シ、多額ノ資金ヲ要シマスモノハ、臨時部ニ計上セラレル性質ノ金デアリマスカラ、先ヅ此ノ際整理節約ノ狙ヒヲ付ケルトスレバ、サウ云フ方面ニ狙ヒヲ付ケルベキモノデアラウ、而シテ多額ノ臨時費ヲ持ツテ居ルモノハ何デアルカト言ヘバ、先づ府縣、六大都市デアツテ、其ノ他ノサイ都市トカ町村等ニハ多額ノ臨時費ト云フモノハ餘リ多ク豫想サレヌ、隨テ其ノ方面ニ餘リ多クノ整理節約ヲ、畫一的ニ一割ト云フヤウナコトヲ言フコトハ適當デナカラウ、斯ウ云フ判斷ノ下ニ、六大都市ヤ府縣ニ對シテハ、是モ特別ノ事情ガアレバ已ムヲ得ヌガ、出來得ルナラバ一割ノ節約ヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ言ウテヤツタノデアリマス、併シ其ノ他ノ方ニ對シテハ畫一的ナ

標準ヲ申シシテヤツテ居リマセヌ、斯ウ云フ
意味ニ於テ、六大都市ニ對シテ一割ト云フ
コトヲ申シテヤツタト云フ説明ノ意味デ、
只今ノヤウナコトヲ申上ガタノデアリマス、
サウ云フ考ヲ私共ハ持ツテ居ル譯デアリマ

ス、臨時費ニ對シテ、六大城市カドウカ知
ラヌガ、一割程度ト云フコトヲ言ハレマス
ガ、凡ソ内務省ノナサルコトガ、何時モ
地方ニ即セザル基準ヲ取ラレルト云フコト
ニ付テ、今丁度伺フ機會ヲ持チマシタカラ
申上ゲマスガ、大體一割ナドト云フコトヲ
臨時費ニ付テ決メラレル基準ハ何處ニ置イ
テ居ルノデアリマスカ、例ヘバ學校ヲ造ル
トカ云フヤウナコトデ厖大ナル臨時費ガ前
年度ニアツタ時ニ、ソレノ一割ト言ツテモ、
度ナドト言フコトガ間違ツテ居ルト思フ、
大體内務省ガ總テノコトニサウ云フ不確實
ナル基準ノ下ニ、何割トカ歩合ヲ決メルト
云フコトニ依ツテ、アノ地方財政交付金ノ如
キデモ實際ニ即セザル分配ヲセラレテ、前
年度ノ戸數割ダトカ、サウ云フ簡單ナ片付
ケ方ヲナサレルト云フコトハ、地方ニ於テ

非常ニ迷惑ニ感ズルモノデアル、今臨時費ニ
於テ一割程度ト言ハレルケレドモ、前年度
ニ二倍モ三倍モ大キナ事業ヲシテ居ル其ノ
一割程度ヤラセルト云フモノモアラウシ、
臨時費デモ必要イムヲ得ザル臨時費トシテ
繼續セザルヲ得ヌ所デハ、此ノ一割ハ相當
ナ苦痛ヲ感ズルモノデアル、前年度ノ事業
其ノモノヲ考ヘズシテ標準ヲ定メルト云フ
コトハ、私ハ今後ナサラヌ方ガ宜イト思フ
ノデアリマス、只今デモ一割程度ノ標準ヲ
ドト云フコトハ、全ク私ハ地方ヲ迷ハシメ
ルコトダト思フノデゴザイマス、實際ノ削
減ノ精神デアルナラバ、出來得ル限リト言
ハレルコトガ私ハ當然デハアルマイカト思
フ、如何ニ地方廳ト雖モ 又地方自治團體
ノ町村ト雖モ、今日ニ於テ事變ヲ知ラザル
モノハナイノデアリマス、大體節約ノ方針
ト言ハレルナラバ、ソコマデ具體的內容ニ
入ツテ指示ヲセラレルト云フ所ニ、種々ナ
疑惑ト迷惑ガ生ズルト云フコトヲ此ノ際御
参考マデニ申上ゲテ置ク次第デアリマス
○坂政府委員 今申上ゲマシタヤウニ、ア
ナタノ御意見ノ通りニヤツテ居ルノデアリ
レバ仕方ガナイ、サウ云フコトヲ言ツテヤ

ツテ居ルノデアリマス、其ノ結果カラ申シ
マシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、一割ニ
達シテ居ラナイデ五分トカ六分ト云フ縣ガ
非常ニ多クアツテ、一割ト云フコトヲ命ジ
テヤツタケレドモ中々實行ガ出來テ居ラヌ
ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、一
割ト云フ節減ヲ强行スル意思モナケレバ、
必ズ一割デナケレバナラヌト云フヤウナコ
トモ申シテ居ラヌノデアリマス、サウ云フ
コトニ於テ先程來申上ゲテ居ツタノデアリ
マス、唯全然標準ヲ決メズニ整理節約ヲシ
ロト申シマシテモ、中々難カシイノデアリ
マス、整理節約スルナラバドノ見當デ整理
節約スルカト云フ標準ガ欲シイト云フコト
モ、一面ニハ出テ來マスカラ、先ヅ出來得
ルナラ一割見當ノ所ヲヤツタラドウカ、斯
ウ云フ心持ヲ申シテヤツタニ過ギナイノデ
アリマス

○樋口委員 ドウモ私ノ言フコトガ分ラヌ
カモ知レスガ、前年度ノ一割程度ト云フ其
ノ標準ノ基礎ガ分ラヌデヤナナイデスカ、其
ノ一割程度ト云フノハ何ヲ標準ニシテ言フ
ノデスカ

○坂政府委員 前年度ノ豫算ノ一割デアリ
マス

ノデアリマスガ、臨時費ト云フモノハ其ノ年々ニ依ツテ非常ニ違フモノデアリマス、繼續費カ何カナラバ兎ニ角、臨時費ト云フモノハ根據ガ確實ニナツテ居ラスヂヤアリト云フコトヲ言ハレルコトハ趣旨ガ徹底セヌ、其ノ町村ニ依ツテ、其ノ都市ニ依ツテ、一割程度出來ル所ト出來ヌ所トアル、場合ニ依レバ、一割程度ト云ハナイデモ、五割モ三割モヤセラルコトガ出來ル譯ダガ、豫算編成ニ當リマシテハ其ノ都市若クハ町村ノ理事者ト云フモノハ、少シデモ豫算慾マス、事業ノ性質ガ臨時費ト云フモノデアルダケ、根據方明ニナツテ居ラヌモノニ對シテ、政府ガ一割内外ト云フヤウナ標準ヲ示サレル所ニ非常ナ疑惑ガ起リハセヌカ、又矛盾ガアリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ガタノデアリマス

○坂政府委員 私ノ説明ノ言葉ガ少シ足リナカツタヤウデアリマスガ、此ノ示シテ居リマス標準ハ、前年度當初豫算額ニ比シ特別ノ事情ナキ限り一割程度ノ節減ヲシテ貴

ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス、一割ノ標
準ハ前年度ノ當初豫算ノ總額デアリマス、是
其ノ總額ヲ押ヘテ一割ト云フコトヲ申スノ
デアリマシテ、臨時費ノ一割ト云フ意味デ
ハナイノデアリマス、唯併シ其ノ節約ヲ何
處ニ求メルカト云フ質問ガ出タ場合ニハ、
ソレハ多額ノ臨時費ヲ持ツテ居ル方面ニ於
テ相當ノ節約ヲスレバ、全體トシテノ一割
程度ノ節減ガ出來得ルデハナイカ、標準ハ
前年度當初豫算ノ總額ノ一割ト云フ基準ヲ
置キマスガ、其ノ一割ヲ臨時部ニ求メルト
假ニ致シマスト、臨時部トシテハ二割モ
三割モ節減シナケレバナラヌ場合モ起ルダ
ラウト思ヒマス、又是ハ起債ノ關係デ、起
債ノ方面モ今申シマスヤウニ物資ノ關係其
ノ他カラ相當ノ制限ニナツテ居リマスノデ、
起債ヲ財源トスル臨時部ノ事業等ニ付テ見
マスト、昨年度ノ一割ドコロデハアリマセ
ヌ、三割モ四割モ五割モ節減シテ貰ハナケ
レバナラヌ場合モ起ツテ居リマス、ソレモ
突キ混ゼテ結局當初豫算ノ一割見當ノ所デ
豫算ヲ組ンデ貰ツタラドウデアラウ、斯ウ
云フ趣旨デアリマス

○野村委員長 ドウデス、別ニ抑ヘル譯デ
モアリマセヌガ、此ノ問題ハ此ノ程度ニシ
テハ……

ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス、一割ノ標
準ハ前年度ノ當初豫算ノ總額デアリマス、是
其ノ總額ヲ押ヘテ一割ト云フコトヲ申スノ
デアリマシテ、臨時費ノ一割ト云フ意味デ
ハナイノデアリマス、唯併シ其ノ節約ヲ何
處ニ求メルカト云フ質問ガ出タ場合ニハ、
ソレハ多額ノ臨時費ヲ持ツテ居ル方面ニ於
テ相當ノ節約ヲスレバ、全體トシテノ一割
程度ノ節減ガ出來得ルデハナイカ、標準ハ
前年度當初豫算ノ總額ノ一割ト云フ基準ヲ
置キマスガ、其ノ一割ヲ臨時部ニ求メルト
假ニ致シマスト、臨時部トシテハ二割モ
三割モ節減シナケレバナラヌ場合モ起ルダ
ラウト思ヒマス、又是ハ起債ノ關係デ、起
債ノ方面モ今申シマスヤウニ物資ノ關係其
ノ他カラ相當ノ制限ニナツテ居リマスノデ、
起債ヲ財源トスル臨時部ノ事業等ニ付テ見
マスト、昨年度ノ一割ドコロデハアリマセ
ヌ、三割モ四割モ五割モ節減シテ貰ハナケ
レバナラヌ場合モ起ツテ居リマス、ソレモ
突キ混ゼテ結局當初豫算ノ一割見當ノ所デ
豫算ヲ組ンデ貰ツタラドウデアラウ、斯ウ
云フ趣旨デアリマス

○野村委員長 ドウデス、別ニ抑ヘル譯デ
モアリマセヌガ、此ノ問題ハ此ノ程度ニシ
テハ……

○田子委員 關聯シテ一寸……、今庄司君
ノ御質問ノ五分減ノ問題デアリマスガ、是
ハ町村ニ通牒ガアツテ、庄司君ノ如キハ一
面町長ヲシテ居ラレテ御自分で困ツテ居ラ
レルノデス、今政府ノ御説明デハ左様ニ強
旨ハ分リマシタ、ソコデニ月ノ末マデニ
行スルモノデナイ、斯ウ云フ御話デ御趣
旨ハ分リマシタ、ソコデニ月ノ末マデニ
ハ市町村ノ豫算ガ成立スルノデアリマス、
無理ニモ或ハ五分減デヤツテ居ル地方モア
ラウト思フ、今一面ニ十四年度カラ青年
學校ノ義務制ヲ施行スル、義務制施行ニハ
保護者ノ犠牲ハ勿論、雇傭主ニ於テモ相當
ノ犠牲ヲ拂フ、而シテ町村デハ昨年度ヨリ
モ五分減ジテ豫算ヲ執行スルト云フコトニ
ナリマシテハ、所謂總親和、總努力ト云フ
コトニ全然悖ルト思フ、ソコデ内務省ニ願
ナラバ必ズ守ラナケレバナラヌ、非常ナ窮
屈ナモノニナル、ソコデ内務省カラ通牒ヲ
戴ケバ、其ノ點ニ付テノ緩和ガ出來ルト云
ト云フノデハアリマセヌガ、青年學校ノ義
務制ノ實施ニ付テハ、無論政府モ地方モ協
力シテヤルト云フ趣旨カラ出テ居ルノデア
リマス、御卽答ハ御迷惑ト思ヒマスケレド
ラズニ豫算不成立デマダ成立シナカツタナ
ラバ、財政ヲ考慮シテ、青年學校ニ付テハ
緊縮ノ通牒ハ別ニ之ヲ適用シナイ趣旨デア
ル、斯ウ云フヤウナ通牒ヲ出シテ戴ケマセ
ヌデセウカ

○坂政府委員 通牒ハドウ云フコトニナリ
マスカ、青年學校ニ付テ別段無理ヲスル考
青年學校ノ經費ハ斯ウ云フ方面ト全然別ダ
ハアリマセヌケレドモ、又私共ガ一律ニ、
ト云フ意味ニ取レル通牒ヲ出スコトニ付キ
ト、御卽答申上ゲルコトハ困難カト思ヒマ
ス

○田子委員 是ハ官吏ダケデハ一寸分リニ
クイノデアリマスガ、此處デ質問應答ガア
ツタリ、或ハ本會議デ附帶決議ガ付キマシ
テモ、實際ハ縣當局者ハ左様ニ簡單ニ引受
ト考慮シテ善處致シタイト思ヒマス
○野村委員長 ソレハ何時頃マデデスカ、
此ノ委員會が濟ムマデデスカ

○漢那政府委員 私ノ言葉ヲ訂正致シマス、
御卽答ハ出來兼ネマスガ、當局ニ於テハ篤
慮シテ返事スルト云フノデアリスマカ、又
ハソレニ付テハ期限ナシデスカ

○漢那政府委員 時期ヲ限ラレルコトハ洵
ニドウモ支障ガ多カラウト思ヒマスノデ、
此ノ委員會ノ開會中ニ御答ラスルト云フ、
其ノ時期ノ御約束ハ致シ兼ネマス

○田子委員 是ハ突然ノコトデハナク、前
カラ五分減ノ問題ハアツタノデアリマシテ、
マス、唯サウ云フヤウニ一時逃レト申シマ
スカ、是ハ文部省ノ教育事業デ、内務省ハ
財政緊縮ハ何處マデモヤラナケレバイカヌ、
申上ガマシタヤウニ、是ハ非常ニ關係スル

答辯ヲ留保サレタリ、考慮ヲ留保サレタリ、本案ハ政府ノ方針ニ依ツテ——政
府ト申シテモ内務省ノ態度デ幾分文部省ノ
此ノ事業ガ阻碍サレルヤウニ思フガ、私ハ
之ニ付テハ兩省大臣ガ御相談ニナツテ、初
年度ニ付テハ特ニ財政ヲ考慮シテ追加豫算
デモ何デモ認メルト云フヤウナ御返事ヲ戴
ケルヤウニ願ヒタイト思ヒマスガ、ドウデ
セウカ

○坂政府委員 私共財政緊縮ト云フコトハ、
此ノ非常時ニ協力スルト云フコトヲ考ヘテ
居ルノデアリマシテ、小サナ問題ヲ擧ゲテ
餘り窮屈ニ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、
青年學校ノ關係ガ旨ク行クノモ結構ナコト
デ、今申上ゲル通りニ無理ナコトヲスルノ
デハアリマセヌ、唯地方ニ於テサウ云フコ
トガ起ツテ居ルト致セバ、十分調べテ善處
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、通牒ヲ出
スカドウカト云フコトハ御卽答申上ゲ兼ネ
ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス
カラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイトノデアリ
マス

○野村委員長 出來ルダケ委員會終了前ニ
返事シテ戴クト云フコトニシテ鳴ラ付ケタ
ラドウデスカ

○漢那政府委員 出來ルダケ早ク研究ヲ致

シマシテ、其ノ研究ノ出來次第發言ヲ求メ
ル機會ガアラウト思ヒマス
○佐藤委員 是ハ青年學校ノ問題デハナク、
又今ノ問題ト比べルト非常ニ小サイ問題デ
ニアル地方青年團ニ對スル補助金ノ問題ニ
付テ、内務當局ニ然ルベク御考慮ヲ御願シ
タイコトガアルノデアリマシテ、先刻モ大
臣ニ御伺シタノデアリマスケレドモ、其ノ
點ハ政府委員ヲシテ答ヘシムルト云フコト
デアリマシタガ、地方青年團ハ事變以來特
ニ非常ナル活躍ヲシテ居ルト云フコトハ御
承知ノ通リデアリマシテ、之ニ對シテハ相
當ノ經費ヲ要スルノデアリマスガ、團員ノ
醸出金及ビ地方自治團體ノ補助金ニ依ツテ
之ヲ支辨シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
所方青年團ノ重大ナル使命ニ比較シテ、從來
各地方自治團體ノ補助金ガ少額デアルト云
フコトハ一般ニ認メラレテ居ツタ所デアリ
マス、ソコヘ持ツテ來テ色々ノ節約ヲシナ
ケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ、
内務省カラ補助金マズ減ラセト云フヤウナ
コトヲ言ウテ居ラレタリ、地方長官ニサウ云
マセヌケレドモ、實情ハ約五分減位ニナツ
テ補助セラレテ居ルノデアリマス、地方青

年團ノ重大ナル使命ヲ地方官ガ認識セラレ
ルナラバ、今マデヨリモ相當増額セラルベ
キデアルト考ヘラムマスノニ、其ノ状態ニ
アルト云フコトハ、甚ダ青年團ノ爲ニ憂フ
アリマスケレドモ、青年學校ト密接ノ關係
付テ、内務當局ニ然ルベク御考慮ヲ御願シ
タイコトガアルノデアリマシテ、先刻モ大
臣ニ御伺シタノデアリマスケレドモ、其ノ
點ハ政府委員ヲシテ答ヘシムルト云フコト
デアリマシタガ、地方青年團ハ事變以來特
ニ非常ナル活躍ヲシテ居ルト云フコトハ御
承知ノ通リデアリマシテ、之ニ對シテハ相
當ノ經費ヲ要スルノデアリマスガ、團員ノ
希望デアリマシテ、質疑デハアリマセヌカ
ラ、或ハ御答辯ハ要ラヌト云フヤウナ御考
デアルカモ知レマセヌガ、之ニ對スル政府
委員ノ御意見ヲ拜聽出來レバ結構ニ存ジマ
ス

○坂政府委員 青年團ニ對スル非常ニ御熱
心ナ御質問デアリマスガ、唯一般的ニ申シ
マスト、地方豫算ニ依ル補助費、獎勵費ト
云フモノハ、一面ノ議論ト致シマシテハ之
ヲ大イニ再検討シテ、整理スベキハ整理シ、
減ラスベキモノハ減ラシ、増スベキモノハ
増スベキデアリマセウガ、整理スベキハ
キデアルト言ヒナガラ、ヤハリソレハノ
トハ非常ニ困難デアリマス、是ハ府縣ニ於
キマシテモ市町村ニ於キマシテモ同様デア
ルト考ヘマス、極ク合理的ニ考ヘマスト、中

年理窟ニ合ハヌコトガ多イト云フコトガ實
リマシテ、隨テ何カノ機會ニ整理節
約ヲスルト云フ場合ニハ、ヤハリ補助費、獎
勵費ニ付テ考慮スルコトガ先ヅ一般的ニ要
求セラレル、是ガ何人モ考ヘ付ク所デアリ
マス、斯ウ云ツタヤウニ消極的ニ、緊縮的
シマシテ、各市町村等ニ於ケル青年團ニ對ス
ル補助額ヲ速ニ適當ナル額ニ上セルヤウニ、
御指令ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、
希望デアリマシテ、質疑デハアリマセヌカ
ラ、或ハ御答辯ハ要ラヌト云フヤウナ御考
デアルカモ知レマセヌガ、之ニ對スル政府
委員ノ御意見ヲ拜聽出來レバ結構ニ存ジマ
ス

○坂政府委員 青年團ニ對スル非常ニ御熱
心ナ御質問デアリマスガ、唯一般的ニ申シ
マスト、地方豫算ニ依ル補助費、獎勵費ト
云フモノハ、一面ノ議論ト致シマシテハ之
ヲ大イニ再検討シテ、整理スベキハ整理シ、
減ラスベキモノハ減ラシ、増スベキモノハ
増スベキデアリマセウガ、整理スベキハ
キデアルト言ヒナガラ、ヤハリソレハノ
トハ非常ニ困難デアリマス、是ハ府縣ニ於
キマシテモ市町村ニ於キマシテモ同様デア
ルト考ヘマス、極ク合理的ニ考ヘマスト、中

ナイカト考ヘマス

○野村委員長 手代木君、宣ウゴザイマス

力

○手代木委員 濱ミマシタ

○野村委員長
佐藤君……

○傳記文選卷一

○里村委員長 サウジアラビア君 今
ノ學校ノ先生ニ對スル恩給ノ問題ニ付テ、
其ノ關係ノ政府委員ガ見エテ居リマスカラ

教員が、恩給年限ニ達シナイ以前ニ退職ヲサレタ場合、現在ノ恩給ノ制度ハ、市町村

ガ一時恩給ヲ交付シナケレバナラナイヤウニ出來テ、ソレガ行ハレテ居リマス、私ガ御尋シタイノハ、當該一時恩給ヲ貰ヒ得ル教員ガ、現在甲ナラ甲ノ町村ニ於テ退職ヲシタ、井ノナガラ其ノ町村ニ、董ニ六角貝

或ハ極端ナモノハ三箇月位シカ勤務シテ居
ナイ、併シ其ノ前任地ニ於テハ五年勤務シ
タ、其ノ又前任地ニ於テハ六年勤務シタ、
斯ウ云フ場合ニ於テモ、只今ノ制度ハ一番
最後ノ僅カ三箇月、或ハ六箇月程度シカ勤

務シテ居ナイ市町村ガ、一時恩給ノ金額ヲ
支辨シナケレバナラヌコトニナツテ居ルヤ
ウデアリマス、是ハ甚シイ不合理デハナイ
カ、是ハ當該教員ガ勤務サレタ町村ノ勤務

年數ノ割合、其ノ他妥當ナル方法ニ依ツテ

年數ノ割合、其ノ他妥當ナル方法ニ依ツテ
支辨スルヤウニ是正サレルノガ合理的デハ
ナイカ、斯ウ云フ質問ヲ申上ゲルノデアリ

○庄司委員 宜シウゴザイマス
一寸御伺シタイト思ヒマスガ……

○坂政府委員 各縣ニ配置致シマシタ事務
官或ハ警視ニ、ドノ職務ヲ擔任セシムルカ
ハ、地方長官ノ意思デ決マルノデアリマス、

○野村委員長 宜シウゴザイマス

○曾和委員 地方局長ニ一寸御伺致シマス

○會和委員 地方局長ニ一寸御伺致シマス、テ居リマス、又日常其ノ人間ヲ能ク見テ此ノ豫算編成ノ件ニ付テノ疑義ガ起リマシ居リマスカラ、最モ適材ト思フ者ヲ適所ヘ

テ、只今實績サレタモノト思ヒマヌケンレト
ト、府縣ノ地方課ノ町村ニ對スル態度ガ、
ハ、比ベマシテ、地方課ガ特別ニ重イトカ、重
クナイトガ云フコトハ申上ガ兼ネルノデア
リマスガ、地方課長ニ適當デアルト考ヘマ

解説シテ、拔差シ出來ヌヤウナコトヲ時ニ
アレ易^{ナガ}アレ、壹^{ナシ}守^ル系^シヒミ^シアレ地方
私^ハ了^ス解^ス致^シシテ居^レノデアリマス
シタ者ガ、ソレニ選任セラレテ居ルヤウニ

○會和委員 職務或ハ官職ノ上カラ言ウテ

トガ、甚ダ肝要デハナ、イカト思フノデアリ
他ノ課トドチラガ重イカ、輕イカト云フコ

マス、府縣ノ事務官ヲ任命サレルノハ中央
トハ言ヘルモノデハナイ、併シナガラ實際
ノ事務官也。我ニ書スレカ、多
用通トゾマスノベ、私、守_{シテ}不_シ意_シ、也。方果

分地方長官ガヤツテ居ルト思フノデアリマ
長ノ職責ハ、實ニヤリニクイ地位ニ在ルト

ス、時ニ依ルトドウモ不適任ナ、殆ド町村
思ヒマス、隨ヒマシテ重イ輕イハ別トシテ、

長ノ言葉ヲ肯カナイ、或ハ實情モ能ク調べ
所謂苦勞人デナケレバナラヌ、色々ナ事情
デナリト付ニハシノダム、トノダム

テ吳レナイ者來マス
列ニ御言音ナトノ警
察官ヲズツヤツテ來タヤウナ人ニサウ云
六名林木ノアノアラモニテ
應ジテ、適當ニ取締ルコトノ考ヘラレル人

フノガアル、殆ド人ノ言フコトハ肯カナイ、
ヲ置カレルノガ宜イ、今ノ局長ノ答辯デハ

サウ云フ點ニ付テ、地方課長ニ補スル時ニ
地方長官ガヤルラシイガ、ソレハ本省ノ方

ハ、地方長官ヨリ中央ニ御相談ニナルデセ
ウカ、ドウデセウカ、ソレヲ一ツ御同ヒシ
何カ御相談ト云フコトモ特ニアルノデハナ

タイト思ヒマス
カラウカト思ヒマスガ、如何デスカ

○坂政府委員 仰セニナリマシタヤウニ、地方課ノ仕事ハ非常ニ複雜ナ、面倒ナ仕事デアリマス、實際サウデアリマス、隨テ所謂苦勞人ト申シマスカ、其ノ邊ノ考慮ノ圓滿ニ動ク人ガ必要デアリマスコトハ、全ク御同感デアリマス、地方長官モ其ノ趣旨デ適當ナル人ヲ選ンデ居ルト考ヘマス、形式上ハ本省ニ別ニ相談ハアリマセヌガ、事實問題ト致シマスト、地方課長、庶務課長其ノ他ノ人ヲ選定スル場合ニハ、形式上デナイ御相談、ドウ云フモノデアラウカト云フ意味ノ御相談ヲ受ケルコトハ往々ニシテアルノデアリマスケレドモ、必ズシモ本省ノ指揮ヲ受ケナケレバ決メラレナイト云フコトデハナイノデアリマス、大體ニ於テ地方長官ノ意思ヲ尊重シ、地方長官ノ判断ニ依ツテ、其ノコトガ行ハレテ居ルノデアリマス、幸ニシテ適當ナル地方課長竝ニ課員ガ居リマス時ニハ直グ收マリマス、サウデナイ場合ニハ一層紛争ヲ大ナラシム、之ヲ收拾シ得ズニ、寧ロ一層其ノ渦巻ヲ大ナルシタル實例ガ二三ニシテ止マラナイノデアリマス、若シ今後サウ云フ人ヲ地方長官

ガ選任スル場合ニハ、公式デハナイ非公式ノ打合セデモ、能ク人柄ヲ御調べニナツテ、謂苦勞人ト申シマスカ、其ノ邊ノ考慮ノ圓滿ニ動ク人ガ必要デアリマスコトハ、全ク御同感デアリマス、地方長官モ其ノ趣旨デ適當ナル人ヲ選任セラレタイ、從來トテモ御選任セラレタイ、從來トテモジマスガ、一層其ノ點ニ御盡力アリタイト云フコトヲ希望シテ、私ハ質問ヲ打切りマス云フコトヲ希望シテ、私ハ質問ヲ打切りマス○野村委員長 田子君

○田子委員 私極ク事務的ナ質問ヲ致シマス、ソレハ此ノ義務制ヲ實施スルニ當ツテ、效果ヲ擧ガルノ意味カラ、色々ナ點ガ問題ニナルト思フノデアリマス、殊ニ都市ニ於キマスル雇傭主トノ關係、東京デモ現在一〇%位シカ就學シテ居ラヌト云フコトデアリマスガ、義務ト致シマシテ大部分ノ者ヲ就學セシメントスルニハ、雇傭主ノ諒解ガナケレバイカヌト思フノデアリマス、勅令案トシテ御示ニナツテ居ルモノヲ見マスト、雇傭主ノ義務ト云フノハ消極的義務デアリマス、即チ「就學義務該當者ヲ使用スル者ハハ今日マデノ實情ヲ見マスト、町村ノ紛争ナドハ、幸ニシテ適當ナル地方課長竝ニ課員ガ居リマス時ニハ直グ收マリマス、サウデナイ場合ニハ一層紛争ヲ大ナラシム、之ヲ收拾シ得ズニ、寧ロ一層其ノ渦巻ヲ大ナルシタル實例ガ二三ニシテ止マラナイノデアリマス、若シ今後サウ云フ人ヲ地方長官

ス、其ノ間ニ三時間、四時間ヲ學校ニ費スコトニナレバ賃銀ヲ差引カレル、隨テ左モナクトモ生活ニ困ツテ居リマス者、尙ホ親カラ仕送リヲ受ケナケレバ就學ガ困難ダト云フコトニナルト思ヒマス、此ノ點ハ勞働法規トノ關係ニ於テ、此ノ就學ニシテ、協議ヲ進メテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ親カラ仕送リヲ受ケナケレバ就學ガ困難ダト云フコトニナルト思ヒマス、此ノ點ハ勞働法規トノ關係ニ於テ、此ノ就學ニシテ、協議ヲ進メテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ親カラ仕送リヲ受ケナケレバ就學ガ困難ダト云フコトニナルト思ヒマス、此ノ點ハ勞働法規トノ關係ニ於テ、此ノ就學ニシテ、協議ヲ進メテ居ル次第デアリマスガ、専シレガ出來ナクテ、唯商工會議所トカ、ノデアリマセウカ、之ヲ御確メシテ置キタリト思ヒマス○小柳政府委員 只今ノ御質問ハ、青年學校振興上極メテ御尤ト存ジマス、ドウシテモ雇主ノ諒解ガナケレバ、實績ヲ擧ゲル譯ニハ參リマセヌノデ、從來ト雖モ雇主ノ會ガアリマシテ、丁度父兄會ニ當ルヤウナモノヲ各地ニ設ケテ、其ノ連絡ヲ執ツテ居リマシタガ、今度愈々、義務制ニナリマスト此務制ヲ徹底スル爲ニ、ドウシテモ國家ノ法ニナラナケレバ、十四年度カラ義務制ヲオナタカノ御質問ニ御答致シマシタヤウニ、ヤリニナリマシテモ、私ハドウモ效果ガ舉スト、只今十一時間勞働ヲヤツテ居リマス

豫算致シマシテ計上致シマシタモノハ、一般豫算ノ中ニ十万圓ノ就學獎勵費ヲ計上致シタノデゴザイマス、ソレハ其ノ金額ガ甚ダ僅少デゴザイマスガ、其ノ十万圓ヲ算出致シタノハ、昭和十四年度ニ於キマシテハ御承知ノ如ク普通科ノ第一年ニ向ヒマシテ就學ヲ強制致スノデゴザイマス、此ノ結果當局ノ推定致シテ居リマス所ニ依リマスト、昭和十四年度ニ於キマシテ義務制實施ノ結果、從來青年學校ニ就學シテ居リマセヌ者ガ、義務制實施ニ依ツテ、新ニ就學スルコトニナルト推定致サレマス者ガ、約十万餘ニ相成ツテ居ルノデアリマス、從來普通科ニ就學シテ居リマセヌ者ハ、其ノ理由ガ必ズシモ貧困トノミハ限ラナイノデアリマスケレドモ、其ノ中貧困ノ理由ニ依リマシテ、從來高等小學ニモ行カズ、又普通科ニサヘ行ケナカツタト云フ者モアルコトハ當然豫想サレルコトデアリマスノデ、其ノ半數程度ノ者ヲ救助致スト云フ意味ニ於キマシテ、取就學獎勵費ヲ國家ノ施設ト致シマシテ、取敢ズ昭和十四年度ニ於キマシテハ十万圓計上致シタヤウナ次第デゴザイマス、併シナガラ青年學校ノ義務制ガ漸次進捗シテ參リ

マシテ、其ノ義務者ノ範圍モ多クナツテ參リマシタ場合ニ於キマシテハ、此ノ就學ヲ完全ナラシメマス爲ニハ、一面ニ於テ此ノヤウナ政府ノ施設ヲ更ニ擴大致サナケレバナリマセヌシ、更ニ一般社會ノ雰圍氣ヲ作リマスコリマシテ、相倚リ相助ケマシテ青年ヲ教育シテヤル、此ノヤウナ雰圍氣ヲ作リマスコトガ最モ必要デアルト考ヘルノデアリマスガ、就キマシテハ當局ト致シマシテハ、昭和十四年度ニ於キマシテ取敢ズ十万圓ノ經費ヲ國費トシテ計上致シタノデアリマスガ、更ニソレ等ノ金額ニ付キマシテモ、又就學奨励ノ機構ニ付キマシテモ、更ニ考慮ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○田中政府委員 青年學校ノ本體ハ、普通科本科ヲ通ジマシタモノヲ一體ト考ヘテ居リマスノデ、普通科ハ實ハ段階ニ過ギマセス、普通科ヲ出マシタ場合ニハ、ヤハリ法律上ト致シマシテハ一種ノ之ヲ修了シタ所云フ觀念デ表示スルノガ適當デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、普通科ニ對シマシテ卒業ト云フヤウナコトヲ申シマスト、學校制度ノ上カラハ相當考慮シナケレバナラヌト考ヘルヤウナ次第デゴザイマス、ソレデ從來サウ云フ扱ニナツテ居ルト思ヒマス
○繩口委員 ソレハ青年學校普通科二年トカ五年ト云フノデ、普通科ト本科トアル以上、普通科ヲ出タ時ニ卒業證書ヲ戴イテチ宜イデヤアリマセヌカ、現ニ尋常小學校ノ卒業證書ト、高等小學校ノ卒業證書トアル、青年學校ダケハソレヲ一貫シテデナケレバ卒業證書ヲ出サヌト言ハレタノデハ、青年學校ト云フモノハ十九歳ニナラナケレバ卒業證書ハ貰ヘナイ、サウスルト其ノ中途ニ於ケルモノハ、就職上ニ於テ其ノ資格ヲ非常ニ疑ハレルノデアリマス、修了ト云フ殆ド未完成ノヤウデアリマス、高等小學以

上ノ學力ヲ有シテ居ツテ、且ツ實習ノ時間
モ十分デアリ、實際問題ニナリマスト卒業
ト修了トハ非常ニ違フノデス、普通科ヲ出
タラ卒業ト云ツテ惡クナイト思フガ、ドウ
デスカ

テ居ル、就職ノ條件トナツテ居ルノデアリ
マス、今デハ非常ニ迷惑ヲ掛ケテ、學務部
長カラ通牒ヲ發シテ、普通科修了ノ者ハ高
等小學校卒業程度以上ト認メルト云フ通知
ヲ出シテ、漸ク是ガ就職等ニ便宜ヲ得テ居

ル譯デアリマス、斯様ナ不便ナコトデナク

トモ、卒業トスレバ宜イ、青年學校ヲ獎勵

シテヤツテ行カウト云フ立場カラ言フナラ
バ、出來ルダケ青年ノ心持ヲ察セヌコトニ
ハ、高等小學校ノ方ハ二年行ケバ卒業證書
ヲ吳レルノニ、片方ハ十九歳マデ行カナケ
レバ卒業證書ヲ渡サヌト云フコトハ、一ツ
御考置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 通年性ノ青年學校ハ、現

在行ハレテ居リマスモノハ慨ネ市町村等ニ

於キマシテ非常ナ熱意ヲ以テ行ツテ居ルノ

デアリマシテ、其ノ實力ニ於キマシテハ相

當充實シタモノガ多イヤウニ思フノデアリ

マス、隨ヒマシテサウ云フモノニ對シテ、何

欲シイト云フ御氣持ハ十分吾々モ諒承出来
マス、併シナガラ只今申上ゲマシタヤウニ、
カ高等小學ヲ出タト同ジャウナ形ノモノガ

法律論ヲ致ス譯デハアリマセヌガ、制度ト
關聯スル所ガアリマスノデ、其ノ點ヲ尙ホ

攻究致シタイト思ヒマスガ、制度ノ問題ト
第六類第十號 青年學校教育費國庫補助法案委員會議錄 第九回 昭和十四年三月一日

致シマシテハ、相當無理ナ點ガアルノデハ
ナイカト考ヘマス

○野村委員長 ソレデハ十二時ヲ過ギマシ
タカラ休憩致シマス、午後ハ二時カラ再開
致シマス

午後零時十一分休憩

午後二時二十七分開議

○野村委員長 是カラ開會致シマス、此ノ
際申上ゲテ置クノハ、委員武知勇記君ガ辭
任サレマシテ、岡田喜久治君ガ補闕ニナリ
マシタ、先ノ御委託ニ依ツテ、武知君ノ理
事ノ代リニ岡田君ヲ理事ニ指名致シマス、
今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午後二
時半カラ開會致シマス

午後二時三十分散會

昭和十四年三月一日印刷

昭和十四年三月二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局